

かわしんの環境関連商品

かわしんISO関連特別融資

- ご利用いただける方… 当金庫と継続して6ヶ月以上与信取引がある方
- ご融資金額…………… 1,000万円以内
- ご融資期間…………… 運転資金5年以内(据置6ヶ月以内)
設備資金7年以内(据置12ヶ月以内)
- お支払い…………… ISO9001及び14001に係わる円転及び設備資金
- ご返済方法…………… 元金均等分割返済 利息先取
- 保証人…………… 代表者は連帯保証人
- 担保…………… 原則不要であるが、一部協議により必要となる場合があります
- 金利…………… 変動金利扱い基準金利は長プラ+0.7%とします

その他の環境関連融資

- 環境みらい資金(県制度資金)…公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等
- 安心リフォームプラン「一家団欒(だんらん)」

カーライフプラン・エコカー(環境自動車)資金

お取扱期間:平成26年4月1日(火)~平成27年3月31日(火)

かわしんは環境保護を応援します

本金利プラン基準金利 年2.7% (固定金利)
保証料別途

○エコカー購入(低排出ガス適合車[四ツ星以上]・ハイブリッド車・電気自動車購入資金

年1.8%
(固定金利)
保証料別途

○「ゴールド免許」をお持ちの方
○「パパ・ママ優待カード」をお持ちの方
※いずれかに該当する方

年2.4%
(固定金利)
保証料別途

本金利プランの対象となる方 **かわしんのカードローンをお持ちの方(新規可)**

- ご利用いただける方 ●当金庫の営業地区に居住又は勤務されている方
●満20歳以上で継続して安定収入がある方
●一般社団法人しんきん保証基金の保証が得られる方
10万円以上500万円以内(1万円単位)
- ご融資金額…………… 5年以内
- ご融資期間…………… ●自動車購入・二輪車購入(ただし、営業用車を除く)
- お支払い…………… ●車検、修理、運転免許取得資金等、および同資金使途の旧借返済資金で当金庫より支払先への振込ができるもの
- ご返済方法…………… 毎月元金または元利金等返済、ボーナス併用返済もできます。ただし、ボーナス返済部分の元金は、ご融資金額の50%までとします
- 保証人…………… 一般社団法人しんきん保証基金が保証しますので必要ありません
- 保証料…………… 別途、保証料(0.78%)を一括でお支払いいただきます

ローンの詳しい内容、または現在のご融資利率やご返済の試算については当金庫の本支店にお問い合わせください。

本店 平成28年度中に完成予定です。



平成27年3月「鴻巣支店」がオープン予定です。



開設準備委員長
柳井陽太郎



鴻巣支店/鴻巣市本町2-1-37 開設準備室/TEL048-541-3600



この冊子は環境にやさしいベジタブルインクを使用しています。



川口信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665



ISO 14001
JQA-EM 4039
本部及び本店営業部



川口信用金庫



かわしんの環境活動報告書

第8号

平成26年11月発行



荒川は、川の国・埼玉の母なる川。水面の向こうに川口の街が見通せます。荒ぶる川が育てた鑄物産業。「聖火台を再び」の夢へ期待が膨らんでいます。

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、環境保全活動を実践しています。



ISO 14001
JQA-EM 4039
本部及び本店営業部



皆さんこんにちは

日頃より川口信用金庫をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当金庫は、おかげさまで平成26年3月1日に創立90周年を迎えることができました。これも偏に地域の皆さま方の長年にわたるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、今夏は真夏日や熱帯夜が続き、大型の台風や局地的な集中豪雨に見舞われ、各地にて土砂災害等の被害にあわれた皆さま方には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をご祈念申し上げます。

地球温暖化の大きな要因となっているのが温室効果ガスであります。その大部分を占める二酸化炭素(CO₂)の人為的排出量は2007年までの約60年間で年間排出量が5倍に増加しています。環境省は、今後地球温暖化を阻止するためには「今後20年から30年間の排出削減と投資が重要」と指摘しております。

このような状況下において、当金庫では平成16年にISO14001を取得してから、毎年、「地球温暖化問題」という困難な課題を解決するために、電力使用量削減を中心に廃棄物・紙の使用削減など二酸化炭素(CO₂)の発生量を

減少させる「環境負荷低減活動」に重点を置き活動して参りました。

地球温暖化防止活動として埼玉県や川口市が推進している「エコライフDAY2014」「チャレンジ・エコライフ」や「みどり」と川の再生」を応援する植樹への参加、さいたま緑のトラスト保全地の保全作業への参加、また「環境クリーン定期預金」による埼玉県環境関連基金への寄付等、職員全員が積極的に環境と地域経済の健全な発展に取り組んできました。

川口信用金庫は、これからも「地域に根ざし、地域とともに歩む」を原点にお客様に信頼され、地域環境の保全に貢献する信用金庫を目指してまいりますので、今後とも引き続き皆さまのご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年11月

会長 山口泰男
理事長 日下義章



荒川が育てた鑄物の街。聖火台を再びキューボラの街から

埼玉県は「川の国」で、県土に占める川の面積の割合(3.9%)が日本一です。さらに、川幅も日本一。埼玉の母なる川「荒川」は鴻巣市と吉見町の境、御成橋付近で堤防と堤防の間が2500mもあります。

荒川の豊かな水は、重要な命脈として流域に暮らす人々と深く関わりを持ち続けてきました。かつては荒ぶる川といわれ氾濫を繰り返す暴れ川でしたが、上流から良質の砂と粘土を運びました。川口ではそれらを鍋や釜、鉄瓶などをつくる材料として利用し、「鑄物の街」として古くから発展してきました。

その起こりは、江戸時代以前にさかのぼるとか。文献に残る最古のものは江

環境方針

I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・環境目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 前記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、及び福祉・環境を大切にする地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

平成26年度環境目標

I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1. 電力の使用量
電力使用量を3.80%削減する(18年度比)
2. 廃棄物の分別と排出
廃棄物の分別を推進するとともに、物件費を3.80%削減し、排出量の削減を図る(18年度比)
3. 紙の使用・廃棄
紙費用を3.80%削減する(18年度比)

II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1. 既存の環境関連金融商品の拡販
2. 新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3. OA機器の効率的活用
4. コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5. 顧客へのISO普及・支援
6. 各種地域貢献活動の立案及び実行
7. 環境関連のその他サービスの提供

戸赤坂日吉山王宮の鯉口(わにぐち)。金口、金鼓とも呼ばれ、天正14(1589)年の銘があります。また、昭和39(1964)年に開催された東京オリンピックのシンボル・国立競技場の聖火台は、川口の鑄物師・鈴木萬之助さん、文吾さん親子の手によるものです。

さて、2020年に東京五輪・パラリンピックが開かれます。聖火台を再び川口の鑄物で——全国に知られたキューボラの街では熱い期待が膨らんでいます。私たちの夢を実現させたいですね。

ISO・環境関連の経歴

H15.9.1	「環境管理室」設置
H15.9.12	第1回コンサルティング開発
H15.12.3	かわしんISO関連特別融資の発売開始
H16.5.28	ISO認証取得(H16.5.28~H19.5.27)
H17.6.21	クールビズ開始(以降毎年6月~9月実施)
H17.11.1	ウォームビズ開始(以降毎年11月~3月実施)
H19.2.13	ISO更新審査(H19.5.28~H22.5.27)
H19.7.2	かわしん環境クリーン定期預金発売(第1次募集)
H19.10.1	かわしん環境活動報告書Vol.1発行
H19.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第2次募集)
H20.6.9	「チーム・マイナス6%」運動への参加
H20.6.24	(財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付
H20.7.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第3次募集)
H20.11.11	かわしん環境活動報告書Vol.2発行
H21.2.16	かわしん環境クリーン定期預金発売(第4次募集)
H21.5.19	(財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付
H21.5.19	彩の国みどりの基金へ寄付
H21.7.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第5次募集)
H21.11.10	かわしん環境クリーン定期預金発売(第6次募集)
H21.11.30	かわしん環境活動報告書Vol.3発行
H22.2.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第7次募集)
H22.3.10	ISO更新審査(H22.5.28~H25.5.27)
H22.5.19	彩の国みどりの基金へ寄付
H22.6.13	川口市エコライフデー参加
H22.6.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第8次募集)
H22.11.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第9次募集)
H22.11.30	かわしん環境活動報告書Vol.4発行
H22.12.16	彩の国みどりのサポーターズクラブ入会
H22.12.20	埼玉県植樹エントリー制度(一人1本植樹運動)へ参加
H23.1.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第10次募集)
H23.1.23	川口市エコライフデー参加
H23.2.27	埼玉県みどり再生課主催記念植樹参加(県立狭山自然公園)
H23.5.18	彩の国みどりの基金へ寄付
H23.6.12	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加
H23.8.5	鳩ヶ谷市里小学校校庭にて緑化推進事業として植樹
H23.10.11	かわしん環境クリーン定期預金発売(第11次募集)
H23.11.18	かわしん環境活動報告書Vol.5発行
H23.12.15	かわしん環境クリーン定期預金発売(第12次募集)
H24.2.29	エコ通勤優良事業所として認証登録
H24.4.2	「環境管理室」から「社会貢献課」へ組織変更
H24.5.14	彩の国みどりの基金へ寄付
H24.5.20	埼玉県緑化推進委員会主催植樹祭参加(春日部市)
H24.7.20	埼玉県エコライフデー(夏のキャンペーン)への参加
H24.9.15	川口エコチャレンジプロジェクト省力・省エネ運搬器具製作協賛
H24.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第13次募集)
H24.11.16	かわしん環境活動報告書Vol.6発行
H25.1.20	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加
H25.2.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第14次募集)
H25.2.9	さいたま緑のトラスト保全第5号地への保全作業参加(宮代町)
H25.5.13	彩の国みどりの基金へ寄付
H25.6.9	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加
H25.7.19	かわしん環境クリーン定期預金発売(第15次募集)
H25.10.30	国土交通省から「都市緑化功労者表彰」受賞
H25.11.26	かわしん環境活動報告書Vol.7発行
H26.1.19	埼玉県エコライフデー(冬のキャンペーン)への参加
H26.2.3	かわしん環境クリーン定期預金発売(第16次募集)
H26.5.30	彩の国みどりの基金へ寄付
H26.6.8	川口市エコライフデー及びチャレンジエコライフ参加
H26.7.24	彩の国みどりの基金植樹寄付(吉見町・衛生研究所)
H26.10.1	かわしん環境クリーン定期預金発売(第17次募集)

本店建て替え工事 廃棄物の行方は？

2014
ECO DATA

川口信用金庫は本店の建て替えを進めています。工事に伴って排出される大量の廃棄物はどう処理されているのでしょうか。果たして、リサイクルや再利用されているのでしょうか。そこで、建設廃棄物の行方に注目しました。

建設廃棄物とは、建物の解体や新築に伴って土木・建設工事の現場から発生するさまざまな廃棄物のことです。コンクリート塊、アスファルト塊、汚泥、木くず、金属くず、ガラスくず、廃プラスチックなどで、産業廃棄物の一つに区分されます。

建設廃棄物は、産業廃棄物全体の排出量の約2割を占めており、年間で約6380万トンにもなります。また、埋め立てる最終処分量では、全体の約2割に当たる年間約402万トンという膨大な量を占めています。

※平成20年度建設副産物実態調査結果について（国土交通省調べ）。平成22年3月発表
※産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成20年度実績）について（環境省調べ）。平成23年1月発表



▲解体前の本店。間もなく工事作業が始まります（H26.6.5）



▲重機をクレーンで屋上へ。屋上機械室の取り壊し（H26.7.1）



▲屋上から5階にかけて解体が進みました（H26.7.14）



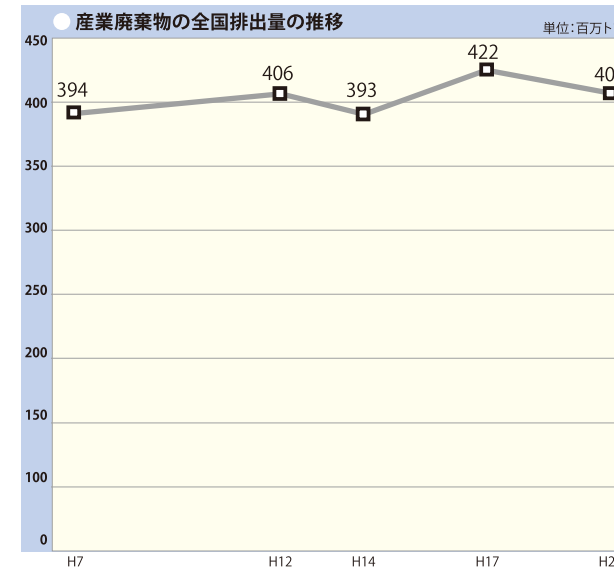
▲壁だけを残して地上まで解体が進みました（H26.8.27）



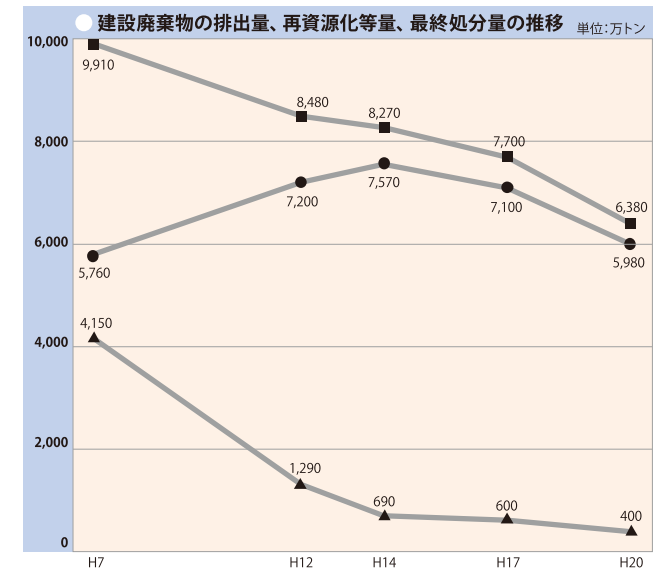
▲壁や柱部分の取り壊しは最後の段階です（H26.9.16）



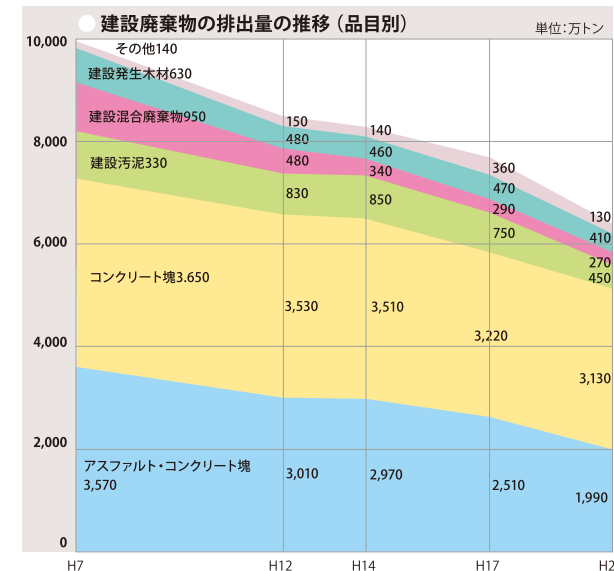
▲解体作業がほぼ終わり、いよいよ新築工事へ（H26.9.25）



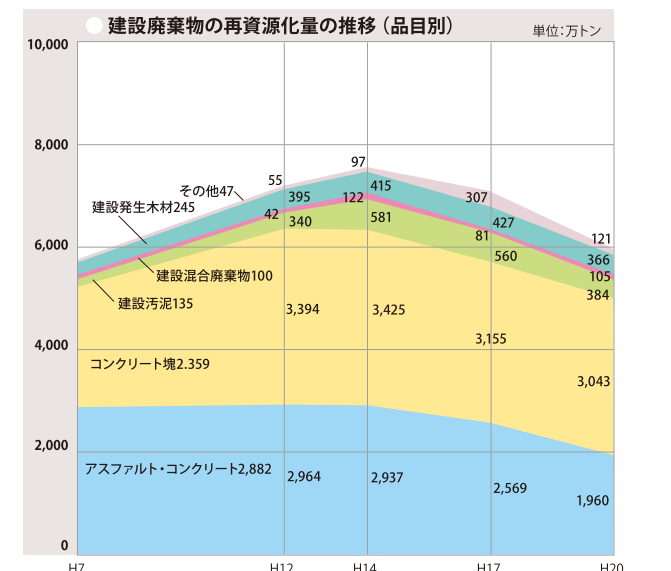
※環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成20年度）について」
※調査対象は「日本標準産業分類（平成19年11月改訂）総務省」をもとに抽出した産業廃棄物の排出が想定される大分類18業種
※対象廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に規定する産業廃棄物19種類



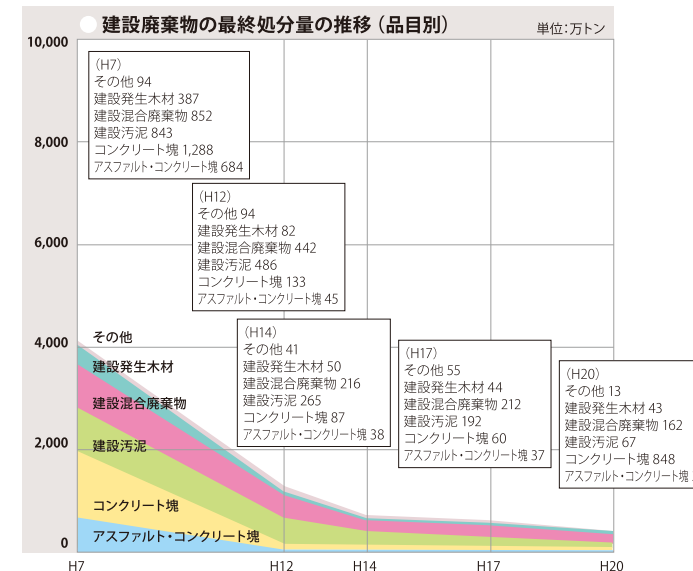
※国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」
※建設副産物とは建設工事に伴って副次的に得られる物品。建設廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材など）と建設発生土の総称
※国土交通省において、地方建設副産物対策連絡協議会等を通じて公共工事などの元請業者を対象に調査



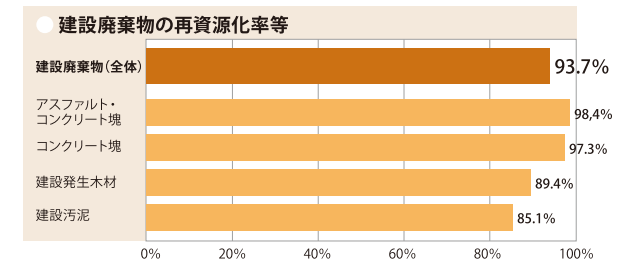
※国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」



※国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」



※国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」



建設廃材はリサイクル優等生！

約6380万トンの建設廃棄物。この量は、東京ドーム約37杯分に相当します。注目したいのはリサイクル率（再資源化率）。グラフをみると、平成20年には93.7%にまで向上していることが分かります。例えば、コンクリート塊やアスファルトは破碎して砕石や砂に再生され、道路などをつくる際の材料として利用されています。

地域の安心と環境に配慮した工事 徹底して進められた廃棄物のリサイクル

6月に始まった本店建て替え工事は解体工事がほぼ終わり、いよいよ新築工事へと進んでいます。では、解体工事によって排出された廃棄物はどうなったのでしょうか。どんな種類の廃棄物があって、どう処理されたのでしょうか。解体工事の様子と合わせて、廃棄物の行方を紹介します。

法律で定められている建設廃棄物のリサイクル。みなさんにも深い関わりがあります。

大きな建設重機が建物を粉々に砕いてダンプカーに積み込み、工事現場から出て行く——解体工事にはこんなイメージがありませんか。以前なら少しでも手間を抑えるために廃棄物を分別することなく、最終処分場に埋め立て処分してしま

うケースも少なくなかったようですが、今はまったく様子が異なります。

家庭から出る紙ゴミ、ビンや缶などがリサイクルされているように、工事現場から排出される廃棄物（建設廃棄物）も原料や材料として再資源化されています。そのリサイクル率はなんと97.3%（平成20年）にもなります。

実は、建設廃棄物のリサイクルはみなさんの住宅にも深く関わっているこ

とです。

平成14年に「建設リサイクル法」が施行されました。正式には「建設工事に係る（かか）る資材の再資源化等に関する法律」といいます。床面積80㎡以上の建築物の解体や500㎡以上の建築物の新築・増築などが対象で、一般住宅の解体や新築・増築工事も含まれますから、特にこれらのご予定があるみなさんにとっては他人事ではないでしょう。

建設リサイクル法は、建設工事の受注者（建設会社など）にコンクリートやアスファルト、木材など特定資材を用いた建築物の解体工事に伴う廃棄物を現場で分別し、資材ごとに再利用することを義務付けています。廃棄物を再生可能な資源と捉えて、有効な利用を確保し廃棄物の減量を進めるのが狙いです。

旧本館と車庫・書庫棟から排出される廃棄物は約4450トン。徹底した分別で適正処理を進めています。

今回の解体工事ではどれほどの廃棄物が排出されたのでしょうか。解体工事を請け負った株式会社内山商事の中林誠一社長に話を伺いました。

取り壊された旧本館の床面積は約3800㎡、車庫・書庫棟が約450㎡。ここから排出される廃棄物はコンクリート塊、木くず、廃プラスチック、廃石膏ボード、紙くず、廃蛍光灯、廃石綿などで、種類ごとに量を把握、管理されています。

「国や業界で定めた係数があって、建物の規模から大まかな廃棄物量が見込



規制物質を含む建材の除去工事では空気中の濃度を監視。測定値を表示しました（写真・内山商事）



破砕重機をクレーンで屋上へ。アームなどを別々にして吊り上げました（写真・内山商事）



大型クレーンが入れず、安全確保のために「階上解体」を採用しました（写真・内山商事）

めます。大部分を占めるのはコンクリート塊や鉄くずなどの金属類で、内装材に使われる石膏ボードや木くずなどを含むその他の廃棄物は全体からみれば少量です」

当初の見込みみではコンクリート塊4000トン、金属類350トン、その他100トンです。では、実際はどうでしょうか。

「9月1日現在で、全種類を合わせた廃棄物量は3000トンほど。この後の工程から考えると、ほぼ見込み通りでしょう」

工事現場では廃棄物の種類ごとに徹底した分別が行われました。例えば、内装は手作業で取り壊し、石膏ボードや木くず、廃プラスチックなどに細かく選別して、種類ごとに中間処理施設に運ばれます。分別の重要性について、中林社長はこう話します。

「中には廃蛍光灯やフロンガスなどのように特別な処理が必要な廃棄物もあります。適切な（中間）処理施設へ運ぶからこそ、フロンガスは破壊処理ができ、廃蛍光灯からはガスを回収することができます。手間やコストはかかりますが、分別は再資源化やリサイクルの要です」

半世紀近く前の古い建物。一部に使われていた規制物質の撤去には徹底した対策を施しました。

旧本店ができたのは昭和42年のことで、半世紀近くが経過していました。古い建物であるが故に、現在では規制されている物質を含む建材が一部に使用されており、除去工事は法律で厳しく定められた措置を含め、地域の環境と安心・安全へ十分に配慮して進められました。

アスベスト（石綿）の除去現場は密閉されて気圧の低い状態に保たれ、微差圧計で監視しました。これは気圧が低い現場へ空気が流入する状態をつくり、粉塵（じん）の飛散を防止する対策です。空気の流入を確認するためのスモークテスターを設置して監視を徹底しました。

排気は特別なフィルターを通して行い、排気口では計測器で監視を続けたほか、敷地境界にも計測器を設置して状態を把握しました。中林社長はこう話します。

「法律では1リットル当たり繊維が10本以

下と定められており、工事期間を通して規制値を大幅に下回りました。工事前の計測値を含めて状況を随時表示し情報公開に努め、安心・安全へ理解していただけよう配慮しました」

竣工は平成28年中の予定です。安全と地域の環境に十分に配慮して進めていきます。

本店は川口駅前、そごう川口店の裏手にあります。大きな建物が隣接する市街地で、車も歩行者も頻繁に行き交うため、大型クレーンが現場に入ることができません。そこで採用されたのが「階上解体」です。破砕重機を屋上に揚げて、最上階から順々に解体しました。

低騒音、超低騒音型の重機を使い地域の環境に十分配慮したほか、煙突の解体などに使う特別な工法を採用して安全に努めました。

竣工は平成28年の夏を予定しています。これからも十分に安全を確保し、地域の環境に配慮して工事を進めていきます。



新本店は地上10階建て、高さ47メートルの規模になります。竣工は平成28年夏を予定しています

産業廃棄物の処理量は、埼玉県が関東圏でトップクラス

埼玉県は産廃物の中間処理量が関東圏でトップクラスで、中でも建設廃棄物が多いとされています。最大の発生源は東京都。特に、がれき類は重量があつて輸送コストがかかるため、発生源に近い埼玉県へ流入しています。県環境科学国際センターと国立環境研究所の共同研究によれば、そのほとんどが県南部に集中していることが分かっています。

資源の少ない日本では廃棄物を資源として循環利用する必要があります。それに加えて、廃棄物の運搬や処理・処分に必要なエネルギー消費を最小限に抑えることも重要でしょう。2020年の東京五輪・パラリンピックへ向けて道路などのインフラ整備が加速しそうです。環境負荷を低減する廃棄物の処理・処分システムの構築が求められています。

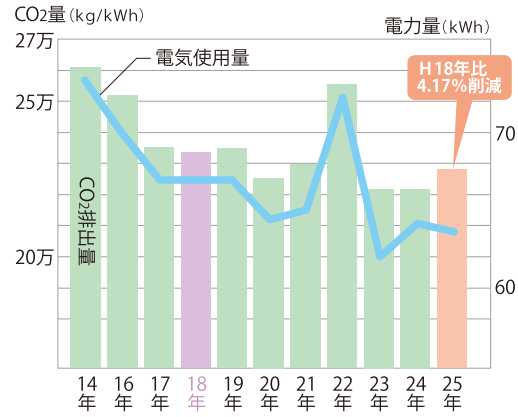


インフラ整備が進む一方で、廃棄物は？

事業活動や環境を保全する活動で投入した資源と、生み出された価値を定量的に把握することが重要です。無駄を省き、浪費を抑えて効率的に環境負荷を最小限化する努力を続けています。

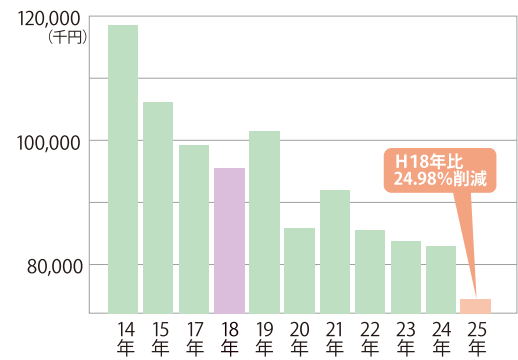
電力とCO₂排出量の削減

平成25年度から基準年度を見直して「平成18年度」とし、より厳しい目標に向かいます。電力使用量は63万8600kWhで、前年と比較して0.31%削減しました。基準年度比では削減率△4.17%となり、目標を達成しました。



紙の使用

平成25年度から基準年度を「平成18年度」としました。廃棄物の全体のうち「紙の使用量」と「排出量」に注目。前年度比で865万7000円を削減しました。基準年度比では2422万5000円を削減。24.98%の削減率を達成し、目標(△1.9%)を大きく上回りました。



エネルギー削減の取り組み

上尾支店は太陽光発電システムを設置して、ロビーの照明や空調に利用しています。発電量は季節や天候に左右されますが、同支店の月間電力使用量の30~40%を賄うことができます。

また、本店や他の支店では消費電力が少なく、長寿命のLED照明や省エネタイプの蛍光灯、高効率反射板「レフボ」を採用するなど省エネに努めています。

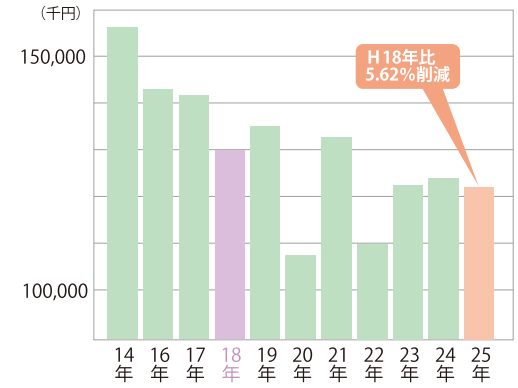
集中式エアコンを順次廃止し、分散型エアコンに切り替えているほか、クールビズとウォームビズの実施、OA機器の効率的な活用や営業室内の不要な照明の消灯などに取り組んでいます。

■上尾支店の電気料の推移(単位: kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
太陽光発電分	1,682	1,791	2,145	2,398	—	—	1,002	2,531	1,944	1,401	1,481	1,366
通常分	3,014	3,095	2,454	2,194	1,372	1,743	2,600	2,512	2,580	2,142	2,333	2,466
計	4,696	4,886	4,599	4,592	1,372	1,743	3,602	5,043	4,524	3,543	3,814	3,832

廃棄物の削減

平成25年度から基準年度を見直して「平成18年度」としました。事業活動に投入した全ての資源は消費され、廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全量を把握しています。基準年度費△1.9%の目標に対して△5.62%を達成。732万5000円削減しました。



保管文書の廃棄

保管期限を過ぎた大量の文書は、セキュリティを十分に確保した上で溶解処理しています。この処理方法は、紙を断裁せず繊維がそのまま残るためリサイクルしやすいのが利点で、トイレットペーパーに再生しています。平成25年度は70万ロールを再生しました。

実施年度	廃棄文書重量 (トン)	再生トイレットペーパー 個数
H17年	103	103万個
H18年	36	36万個
H19年	45	45万個
H20年	40	40万個
H21年	52	52万個
H22年	40	40万個
H23年	39	39万個
H24年	60	60万個
H25年	70	70万個



本店や全支店の照明に高効率反射板「レフボ」を設置しました(鳩ヶ谷支店)



上尾支店の屋上に設置された太陽光発電パネル。ロビーの照明や空調に利用しています

全役職員が一丸となって

理事長を最高責任者とする体制の中で、環境マネジメントを推進し、本部総務部に社会貢献課を設置しています。環境管理委員会には環境担当役員、本部長及び本店営業部長が参画し、社会貢献課が事務局機能を果たしています。環境管理委員会は、「環境方針」に則った「環境目標」を毎年決定し、本店及び支店の環境の取り組みを総合的にマネジメントしています。

また、平成16年には国際標準化機構(ISO)が定めるISO14001の認証を取得。理事長や担当役員が、その進捗状況を定期的にレビューし、PDCA(PLAN-DO-CHECK-ACT)のサイクルで、全体的な環境マネジメントを推進しています。

環境意識の啓発と高揚

全職員は環境マネジメントシステム(EMS)カードを携帯しています。そこには、かわしんが掲げる「環境方針」「私たちの環境目標」「私たちの環境行動ルール」が記載されています。



職員一人ひとりが「環境方針」や「環境目標」を自覚し、日頃から意識向上に努めています

職員へ向けた環境教育の実施

本部、本店営業部への異動者、および新入職員とパート職員を対象にした環境教育を実施しています。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に展開することで、職員が環境についての知識を学び、環境意識を向上させます。



ISO14001の研修会。環境管理システムへの理解を深めます

「Fun to Share」に参加しています

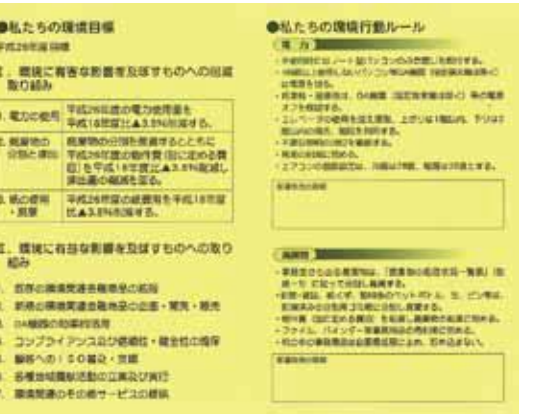
政府がこれまで進めてきた地球温暖化防止国民運動「チャレンジ25キャンペーン」が、気候変動キャンペーン「Fun to Share」に生まれ変わりました。かわしんはこの運動に当初から参加しており、引き続き参画して低炭素社会の実現を目指します。



技術や取り組みなどの最新の知恵を楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくらうという合言葉。シェアした知恵を活用して、低炭素アクションを実践します。

販促品でも環境意識の啓発

セールスプロモーションにも環境の視点を採り入れていきます。さとうきびを原料にしたポケットティッシュやキッチンペーパー、プランターに紙コップを使用して手軽にガーデニングが楽しめる栽培セットなどを採用しました。消費者としての目線からも環境意識の啓発に努めています。



環境に配慮した製品のほか、ガーデニングを手軽に楽しめる栽培セットを採用しました

地域の発展と環境保全に向けて、環境マネジメントシステムを導入し、推進しています。地域社会の一員として環境問題に対する基本的な考え方を示し、具体的な活動につなげていきます。

お客様から満足、安心、信頼を得られる金融商品やサービスを提供することが、かわしんの基本です。全職員がお客様の声に耳を傾け、お客様と共に環境負荷低減に向かっています。

環境保全へ向けた商品やサービスを提供しています

環境クリーン定期預金

環境クリーン定期預金は、募集達成総額の一定割合に相当する額をかわしんが負担し、環境保護のために寄付するものです。第16次(平成26年2月)、第17次(平成26年10月)の募集を行い、募集金額はそれぞれ50億円でした。

環境関連商品によって環境保護活動を経済的に支援するだけでなく、募集パンフレットに「さいたま緑のトラスト写真コンクール」の入賞作品を採用するなど、商品の企画開発を通じて環境保護団体との連携も深めています。



回数	募集実績(累計)
第1回	50億円(累計)
第2回	100億円(累計)
第3回	150億円(累計)
第4回	250億円(累計)
第5回	350億円(累計)
第6回	450億円(累計)
第7回	550億円(累計)
第8回	650億円(累計)
第9回	750億円(累計)
第10回	800億円(累計)
第11回	900億円(累計)
第12回	1000億円(累計)
第13回	1100億円(累計)
第14回	1200億円(累計)
第15回	1300億円(累計)
第16回	1350億円(累計)
第17回	1400億円(累計)

エコライフを支援するリフォーム・住宅のローン

自然エネルギー利用や省エネルギー対策など、太陽光発電設備設置、もしくはエコ仕様設備設置、耐震工事などリフォーム(増改築・修繕)資金、バリアフリーリフォーム資金及び、それに伴う諸費用の取扱いをしております。



環境関連の融資やローン

ISO9001やISO14001の認証取得を支援する特別融資を企画・開発しました。取得に係わる運転資金や設備資金などにご利用いただけます。また、エコカー購入などに利用できる固定金利型のカーライフプラン・エコカー資金も好評でした。



ECO EYES

植樹整備に貢献。埼玉県衛生研から感謝状

これまでの寄付活動が評価されました

埼玉県衛生研究所が吉見町に移転して4月にリニューアルオープンしました。研究所の取り組みを広く知ってもらうと7月に「みどりの中のオープンデー」が開催され、かわしんも招待されました。敷地内の植樹整備には「彩の国みどりの基金」が活用されており、これまで続けてきた寄付活動が評価されたものです。催しには服部和義理事が出席し、感謝状と植樹記念写真をいただきました。敷地内の一角に植えられた苗木には「創業90周年記念 川口信用金庫」の銘が刻まれたプレートが設置されています。



「記念公園」と呼ばれるエリアに記念プレートが設置されています



衛生研は元吉見高校。「記念公園」には卒業記念碑が集められています



衛生研は県民の健康と安全な暮らしを支えています

地域社会との連携を生かして

環境保全や自然保護の活動を支援する環境関連の商品やサービスを通して、埼玉県をはじめさまざまな団体との協力関係が深まっています。

そのつながりを生かして、埼玉県と公益財団法人さいたま緑のトラスト協会が主催する写真コンクールの入賞作品をカレンダーに毎年採用しています。

カレンダーは2万5000部を作成しました。お客さまへ配布することで緑のトラスト運動を支援し、身近に残る貴重な自然環境への関心を高め、保全・保護する必要性を訴えました。

2015年版には「身近な緑の部」の最優秀賞作品「帰り道」を採用しました。菜の花が咲く小路を幼子たちが手をつないで歩いています。



埼玉県の「みどりと川の再生」を応援

環境クリーン定期預金を通じて、彩の国みどりの基金へ毎年寄付を行い、埼玉県が推進する「みどりと川の再生」事業を積極的に応援しています。

今年は5月13日に、埼玉県庁を訪れて500万円を寄付しました。



感謝状を手に上田清司知事を囲んで。左から日下理事長、知事、山口会長、木村理事



感謝状と県のマスコット「コバトン」をいただきました

eco community

かわしんが環境に対して何を考え、何をしようとしているのかを地域社会へ伝え、地域のみなさんがかわしんへ何を望んでいるのかを知ること。地域社会とのコミュニケーションを進めています。

環境への価値観を共有する取り組みを進めています